

まが玉づくり

「古事記」には、スサノオノミコトがヤマタノオロチを退治した後、出雲の「まが玉」を天照大神に献上され、これが「三種の神器」

- ・八咫鏡（やたのかがみ）
- ・草薙剣（くさなぎのつるぎ）
- ・八尺瓊勾玉（やさかにのまがたま）

のひとつになったと書かれています。

古代の人々とほぼ同じ方法で石を削って、オリジナル「まが玉」を作ってみませんか？思いを込めた手作りのまが玉は、きっと幸運のお守りとなることでしょう。



実施可能人数	70名（2クラス程度）まで	活動季節・条件	通年
所要時間	2時間程度	実施場所	研修室
主な対象	小学生～		
指導について	活動前に職員が作り方の説明をします。創作時は自主活動となります。		

活動の概略

滑石（かっせき）というとても軟らかい天然の石を使って作ります。

滑石に作りたい形を描き、粗目の紙やすりを使って周りを削り落とし、細目の紙やすりと耐水ペーパーを使ってなめらかに磨きます。できあがったら、紐を通しペンダントに仕上げます。

交流の家で貸し出しができる用具・材料

えんぴつ、磨き用タオル、棒やすり、水入れ、新聞紙、ぞうきん、ごみ袋

セット内容

利用者または団体で準備する用具・材料

特にありません。

購入する物（消費税込）

まが玉づくりセット 270円 [滑石、ひも、紙やすり3枚]



活動の流れ

①職員との事前打合せ	研修場所、用具、実施上の留意事項等を確認し、作り方の説明を受けます。
②用具の受け取り・活動場所の準備	貸出用具と購入物品を受け取り、活動場所の準備をします。
③事前説明	活動前に職員が指導をします。創作中は自主活動となります。
④活動	決められた研修室で活動します。
⑤ふりかえり	できあがった作品を眺めながら活動をふりかえります。
⑥用具の片づけ	活動場所の清掃、ごみの処理、貸出用具の返却をします。

安全対策・環境への留意点

- ・滑石はとても軟らかい石のため、落としたり、強い衝撃を与えたりするとこわれます。取り扱いには注意しましょう。
 - ・削り落とした粉がたくさん出ます。毒性はありませんが、目や口に入った場合は水で洗い流してください。
 - ・床、机などを傷つけたり、汚さないように配慮してください。
 - ・活動終了後は、使った場所の清掃を行い、職員の点検を受けてください。
 - ・貸出用具は教材室前に返却し、ごみ袋は事務室へ持ってきてください。
- ※団体の方が持ってこられたものから出たごみについては、お持ち帰りください。